

・事例 右図の様に純チタン丸棒を旋盤にて仕上加工中、バイト刃先から切削中の切粉へ引火した。引火した切粉が作業者の足元に堆積していた細切粉に落ちたため延焼した。作業者は慌てて切粉を去除しようとしたが、作業服へ燃え移り足部を火傷した。切粉燃焼時の対応として機械横に消火砂を用意してあったが、燃焼が速く慌ててしまった。

・原因 切削工具の刃先から切削中の切粉へ引火した。旋盤周囲に切粉が堆積していた。

・対策 最適切削加工条件の設定。
切削後の切粉は堆積しないよう定期的に清掃。

